

1 教科について

国語

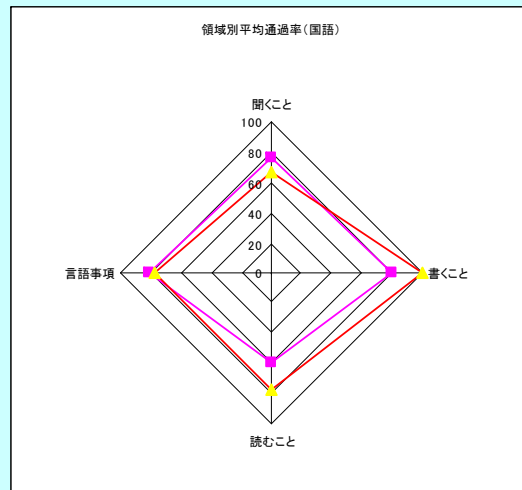
昨年度の課題

- ①「言語事項」においては、主語・述語の関係を考える問題が44.4%で課題がある。
 - ②「読むこと」では、「叙述をもとに想像しながら読む」ことや、「段落相互の関係を考えながら正しく読む」ことが66.7%で課題がある。特に「段落相互の関係を読み取る」は44.4%であった。
- ◇「話すこと・聞くこと」で話し手の意図をとらえながら聞き、整理する設問の正答率が低かった。

昨年度の課題を受けて
具体的に取組んだ事項

- ①「読むこと」では、中心となる語や文・接続語などに着目し、文章構成図に表す活動を通して、段落相互の関係を捉えさせたり、書かれている話題、理由や根拠となっている内容、指示語の内容等、叙述に即して内容を正しく読み取らせたりする指導を行った。
 - ②「言語事項」では、教材の一文の主語を捉えさせることや、書いた文の主語と述語の関係を確かめながら推敲させることを繰り返し指導した。漢字は週1回小テスト、学期毎の全校一斉漢字テストを実施した。
- ◇朝会等の機会を捉え、メモを取りながら話を聞く練習や箇条書きでまとめる練習をし、大事なことを聞き取る力をつける。
- ※全学年において、授業モデルに沿って授業を展開し、めあてに沿ったまとめを書いて1持間を終わるよう授業改善を図った。叙述に即して読み取ったり、読み取ったことや考えたことを比較したりして、それらを自分の言葉や構成図等に表現させた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 _____ % 県平均 78.5%



少人数のため、平均点、通過設問数ごとの児童割合等については公表いたしておりません。

重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査
◇:全国学力・学習状況調査

- ①「読むこと」では、「段落相互の関係を考えながら文章を正しく読む」「中心文やキーワードを見つけ要約する」ことに課題がある。
- ②「言語事項」では、主語・述語の関係を考えることや漢字・ローマ字が定着できていない児童がいる。
- ③「聞くこと」で話の要点を聞き取ることに課題がある。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①「読むこと」では、説明文単元を中心に年間2回以上の授業研究を実施し、学年ごとの学習内容を整理し、重点的に指導していく。
- ②「言語事項」では、毎週1回の「ことばタイム」で、主語と述語の関係に関連する問題に取り組み、確認プリントにより繰り返し指導を行う。漢字やローマ字は全校で1ヶ月に1回の一斉確認テストを行う。
- ③「聞くこと」では、メモの取り方を具体的に指導し、メモを取りながら話の中心に気をつけて聞く機会を意図的に設定する。また、授業や発表朝会の中で質問をさせ、考えを伝え合うペアトークを積極的に取り入れる。
- ④音読や読書に重点をおき、学年ごとに目標を設定し、読書量を増やす。

来年度の目標値

- 読むこと、聞くことの通過率を80%以上にする。
- 全ての領域で県・市の通過率を上回る。

指導方法等の改善計画について

算 数

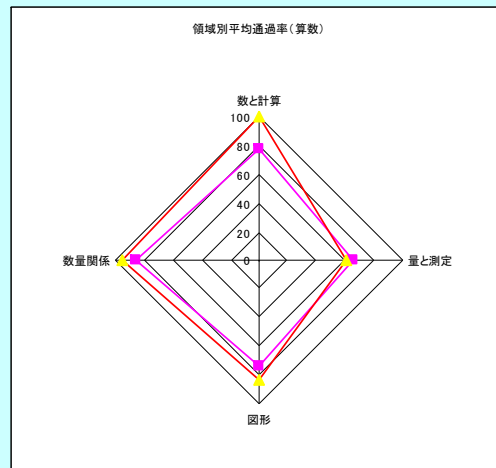
昨年度の課題

- ①「量と測定」領域において、面積の単位がわかり、量にあった単位を使うことができていない。
 - ②「図形」領域において直角三角形の作図ができていない。
 - ③「数量関係」領域において、伴って変わる数量を求めることやその関係を立式することができていない。
- ◇「数量関係」で計算の順序を理解し、問題を読み取り式を修正する設問の正答率が低かった。

昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

- ①単位と身近なものの量とを結びつけて実感を伴うような活動の工夫を行った。
 - ②基本的な図形の性質について、具体物を用いて操作活動を行いながら理解させた。辺・直角・頂点などの用語を用いて説明したり、図形の性質の違いを整理したりするなど指導の工夫をした。
 - ③式から具体的な事柄や関係を読み取ったり、関係を説明させたりして、式の表す意味を考えさせるようにした。
- ◇授業の中で、式と文章、図を関連付けて説明する活動を取り入れ考えさせた。
- ※問題解決型の授業を展開し、その時間に学習した考え方を使った練習問題と振り返りを書いて1時間の授業を終わるように授業改善に努めた。既習の学習内容をもとに、これまでとの違いを明確にして、言葉や図を使って表現させた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 _____ % 県平均 77.8%



少人数のため、平均点、通過設問数ごとの児童割合等については公表いたしておりません。

重点課題 ◎：「基礎・基本」定着状況調査 ◇：全国学力・学習状況調査

- ①「量と測定」領域において、数量のイメージ化ができず、面積や重さ、角の測定、かさや量にあった単位の理解に課題がある。
- ②「図形」領域において、直角三角形の作図に課題がある。
- ③「数量関係」領域において、棒グラフの特徴を読み取ることに課題がある。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

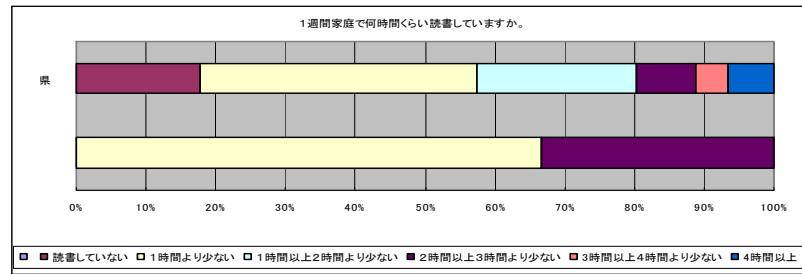
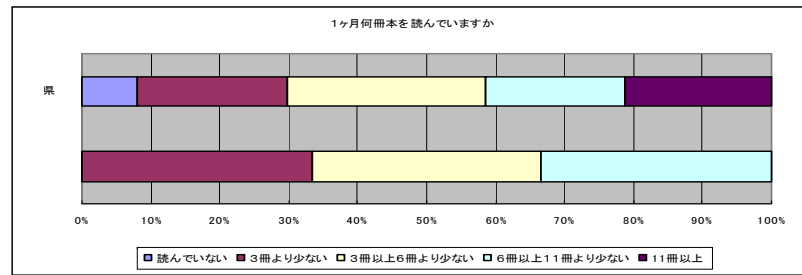
- ①実際の量を予想させ、それを確かめる活動を通して量感を育てる。長さ、重さ、かさ、広さ等について、実際に見たり触れたりできる校内掲示等を工夫するとともに様々な場を活用して量感を意識する活動を仕組む。
- ②図形領域では、常に構成要素に着目させ、図形の定義・性質を結び付けて理解させたり、作図させたりする。
- ③数値をグラフに表すよさとグラフについての基本的な知識やきまりなどを指導する。他教科でも、いろいろなグラフに触れさせてそれぞれのよさを実感させ、グラフを読むことに慣れさせていく。
- ④問題解決型の授業を展開する。前時との違いを明確にし、既習内容をもとに考え、言葉や図で式の意味を説明する力をつける。また、定着を図るための「チャレンジタイム」を継続する。

来年度の目標値

- 量と測定、図形の通過率を80%以上にする。
- 全ての領域で県・市の通過率を上回る。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

(1) 生活・学習

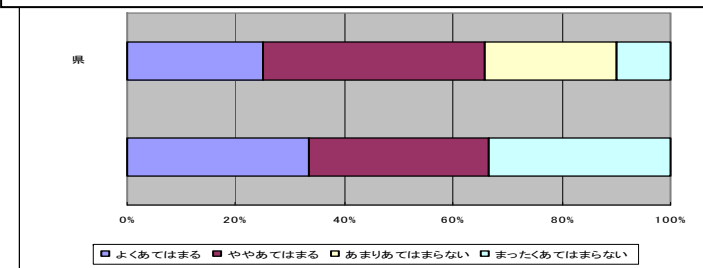


改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎1週間の読書時間が短く、1ヶ月の読書冊数が少ない。 ◎家庭学習の時間が1時間未満の児童が多い。	◎学年に応じた図書を紹介し、ブックトークを行うことで読書意欲を喚起する。読書カードを活用し、1ヶ月ごとの目標冊数を意識させる。また、家読の目標時間を達成できるように保護者に啓発を行う。 ◎家庭との連携をとりながら、学年ごとの家庭学習時間(5年生は1時間以上)を達成させる。また、自主勉強の目標ページをきめ、学習方法が分かる手引きの作成と共に、毎日の点検を行い、がんばっている児童を紹介し、意欲付けを行っていく。

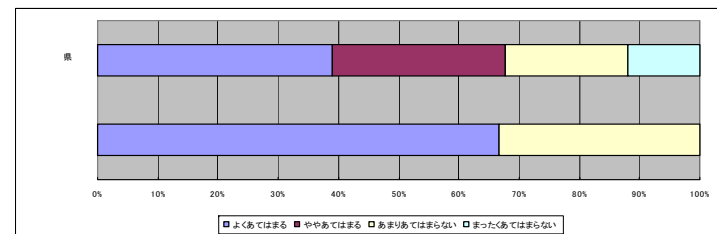
来年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> 1ヶ月の読書冊数3冊以上の児童の割合を80%にする。 家庭学習の時間平均1時間以上の児童(5・6年)を80%にする。
--------	---

(2) 教科

国語の授業では、自分の力に合った内容や方法、学習の進み具合などを選んで学習するほうがよくわかります。



算数の授業で、文章を式で表したり、式にあてはまる問題を作ったりすることが好きです。



	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎自分の力に合った内容や方法、学習の進み具合などを選んで学習するほうがよく分かると思う児童の割合が低い。 ◎段落ごとに何が書いてあるかを整理しながら文章を読んでいる児童の割合が低い。	◎自主的に学習が出来るように、一人学習を行う場面では、いくつかの課題を与え選択させて学習を進める。全体で話し合う場面では、ペアトークを取り入れ自分の考えを伝える力をつけていく。 ◎文章構成を考えながら、キーワードやキーセンテンスを見つけたりする学習を進める。
算数	◎文章を式で表したり、式にあてはまる問題を作ったりすることを苦手とする傾向がある。	◎式を作る場合には、なぜこの式になるのかを考えさせて言葉や図で説明できるように、自分の考えを書いて整理させる。また、式から様々な問題を作って、児童同士で交流する場面を設定する。

来年度の目標	・文章を式で表したり、式にあてはまる問題をつくったりすることを好む児童の割合を2ポイントあげる。
--------	--

指導改善のための実施スケジュール

